



ましきな

校是：向学 誠実 開拓
与論町立那間小学校
TEL 0997-97-2278
FAX 0997-97-4950



「子どもたちのさらなる成長を願う5月」

那間小学校 校長 有留雄一郎



新緑が鮮やかな5月。例年より7日、昨年より12日早い梅雨入り。今年のGWは新型コロナウイルス感染症が各地に広がり、主要都市の緊急事態宣言の延長も懸念され、静かな5連休だった。先の見えない状況ではあるが、子どもたちが不安を感じることがないように、気持ちを明るく前向きに、私たちが出来ることを保護者の皆様や地域の皆様とともに全力で取り組んでいきたい。

この1か月、毎日が日替わりで、目にするもの全てが新しく感じた。その中でも登校時の子どもたちの立ち止まっての挨拶はここ数年で出来上がったものではなく、これまでの那間小の伝統を感じた。さらなる子どもたちの成長を願って、那間小の児童及び教職員と一緒に取り組むことは、

「揃える」こと。

「揃える」にはいくつかの意味があるが、「整然と並べる」「全体を一つにまとめる」に絞って考えたい。

例えば、「靴箱の靴のかかをと揃えること」や「トイレのスリッパを揃えること」。自分の



気持ちがガサガサしているとどうしても雑になってしまう。靴のかかをと揃えることで自分の気持ちを落ち着かせることが出来る。学校や学級のみならず気持ちよくなる。また次の人が使いやすいなど「思いやりの心」が育つ。小さなことではあるが、コツコツと当たり前のことを当たり前にする「凡事徹底」が肝要となる。

2つ目の「揃える」は「向かうべき方向を一緒にすること」。職員の気持ちや考えの中に「めざす学校像」「めざす子ども像」「めざす教師像」がバラバラであっては学校は成立しない。これは学級でも同じこと。もちろん十人十色でいろいろな考えがあってもかまわない。全ての子どもや教職員の考えが全て同じとは言わない。だから学級目標を掲げる。学校も学級も大きなベクトルが必要である。ベクトルを揃えることは、心を落ち着かせることにも繋がっていく。

「全国大会に行きたい」

昔、県北部の中学校で陸上部の顧問をしていたころ、当時の生徒たちから出た言葉。それまで成績もパツとせず、いつもグラグラしていた生徒たち。大きな目標を揃えた結果、全国大会は行けなかったが、確実に生徒たち一人一人が成長し、数多くの大会で各種目で入賞したり優勝したりすることが出来た。もちろん靴ならべや挨拶は言うまでもない。

ここ那間小の子どもたちには、素晴らしい原石を感じる。子どもたち一人一人が互いに磨き合い輝けるように、小さなことを子どもたちと教職員と共に積み上げていきたい。

6月

行事予定

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
主な行事	遠泳練習 歯と口の健康教室 全校朝会	遠泳練習 人権集会	ゆみんちゆ隊 歯と口の健康教室 児童代表保健委員会	くじら号 緑化タイム				遠泳練習 食育指導	遠泳練習 クロツキ	クラブ活動	学校保健委員会 第2土曜日				創立記念集会 遠泳練習	仲良し体育 PTA理事会	ユンヌフトゥバの日 ユンヌフトゥバ学習	与論島クリーン大作戦				遠泳練習	遠泳練習	クラブ活動	遠泳練習				遠泳練習	仲良し音楽	遠泳練習	仲良し体育